

「出産・子育てに関する意識・希望調査」の結果について

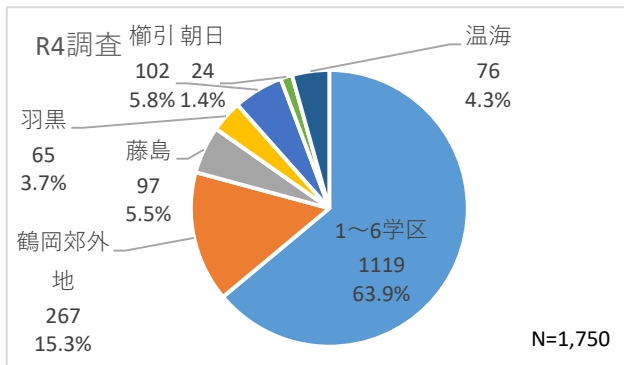
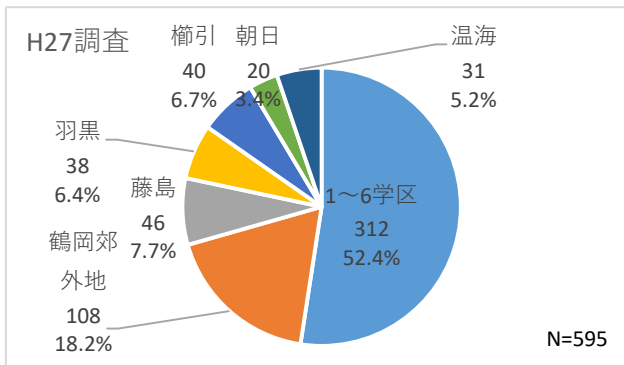
1 調査概要

第2次鶴岡市総合計画のKPIの一つである「本市における子育てのしやすさ」について、現状値を把握することを主な目的とし、あわせて、子育てに関連した施策に対するご意見等を伺った。

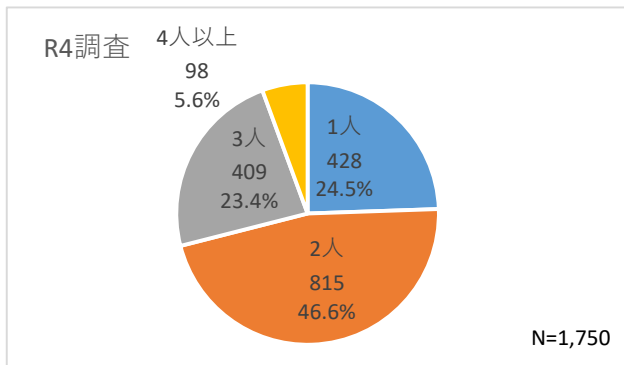
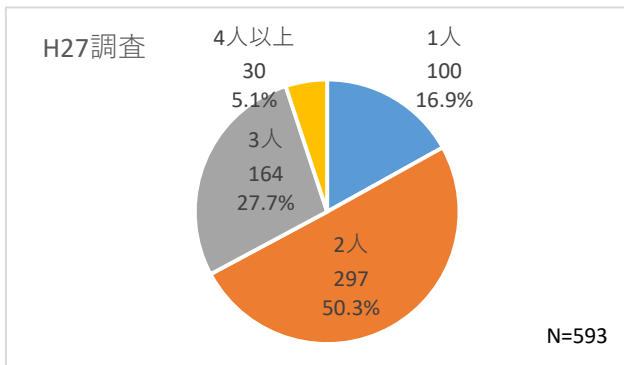
- 期間 令和4年8月26日～9月9日
- 対象 中学3年生までのお子様がいる世帯（各世帯1回の回答）
- 方法 やまがたe申請を利用したオンライン回答
- 周知 LINE（友だち登録している約3万人にプッシュ通知）、各小中学校・保育施設等へのチラシ配布
- 回答数 1,750件

2 調査結果（※平成27年度に実施した「出産・子育てに関する意識・希望調査」と比較して掲載）

①居住地域

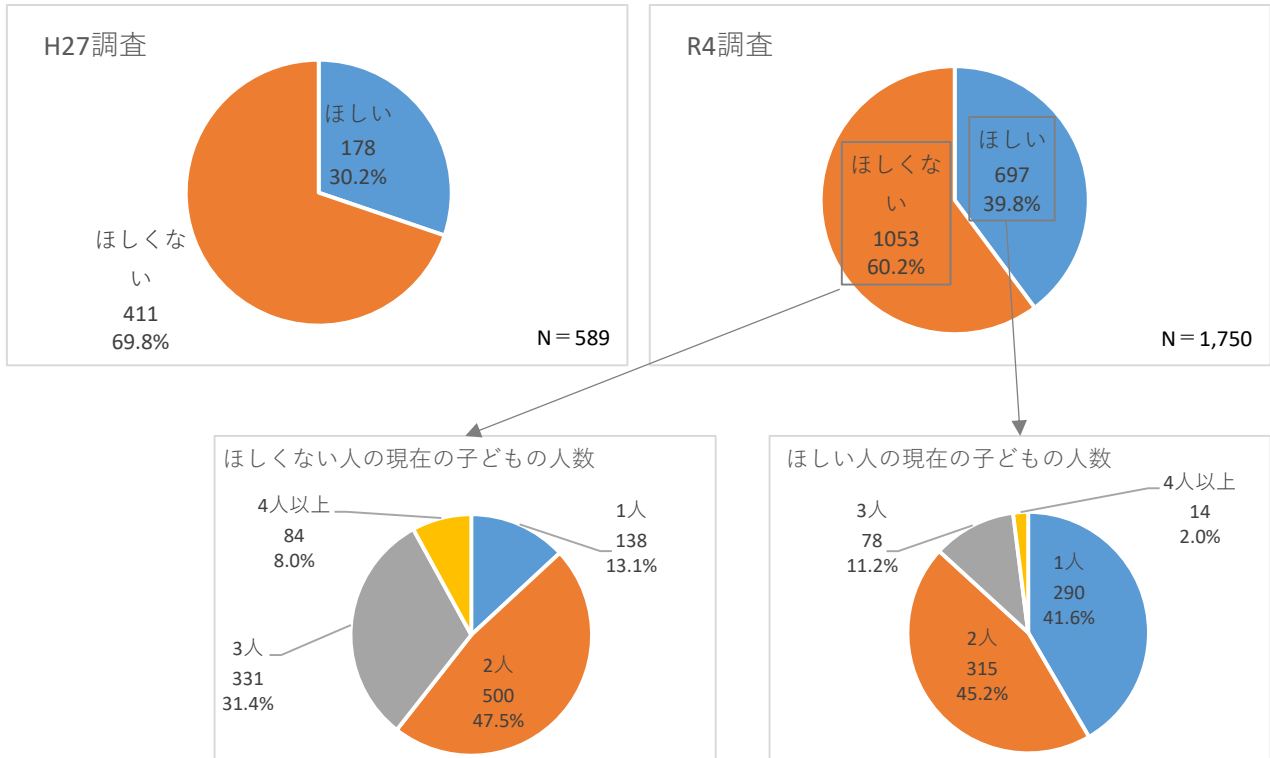


②お子さんの人数



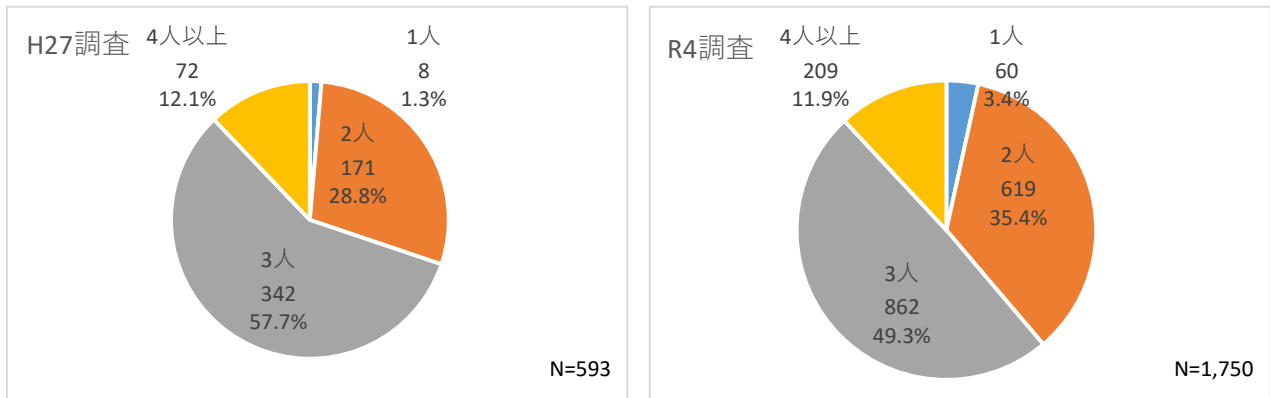
・平均人数は、前回調査「2.2人」→「2.1人」

### ③今より多くの子どもがほしいか



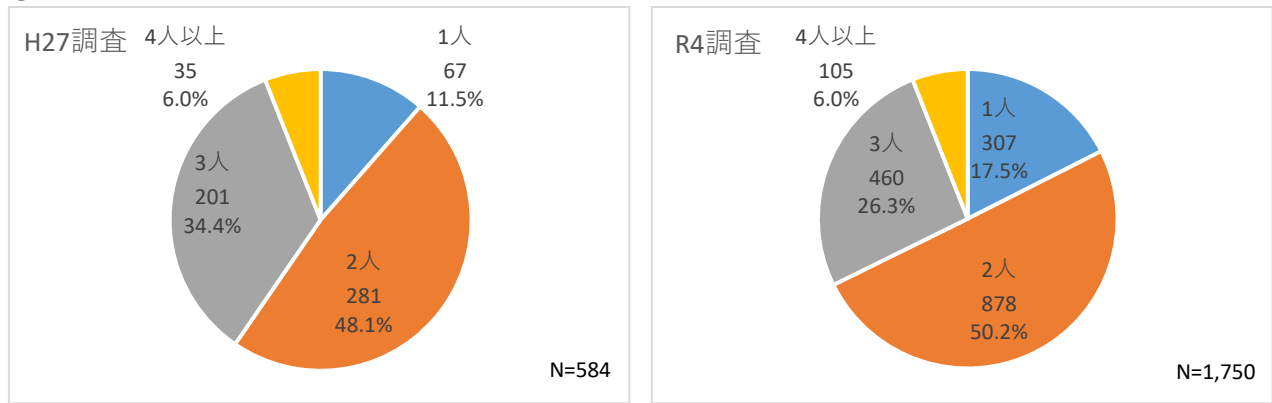
- ・ 前回調査より「今より多くの子どもがほしい」と答えた割合が増えた。
- ・ 「ほしい」と答えた人では、現在複数の子どもを持つ割合が約6割を占めている。

### ④理想の子どもの人数



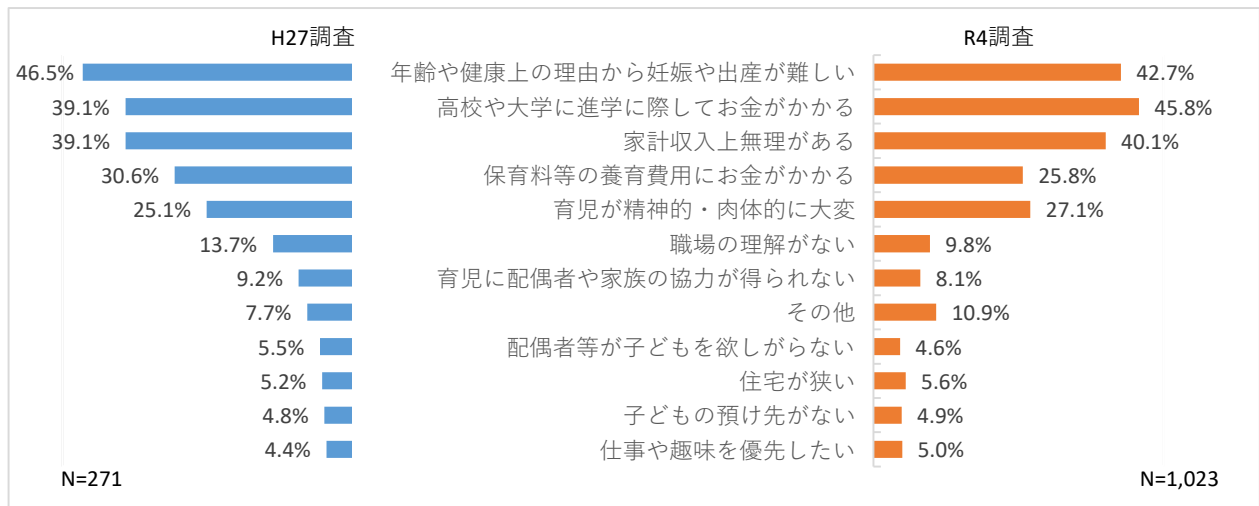
- ・ 「1人」又は「2人」と答えた割合が前回調査より増えた。(30.1%→38.8%)
- ・ 「3人」又は「4人以上」と答えた割合は前回調査から減った。(69.8%→61.2%)
- ・ 平均人数は、前回調査「2.8人」→「2.7人」

### ⑤現実的な子どもの人数



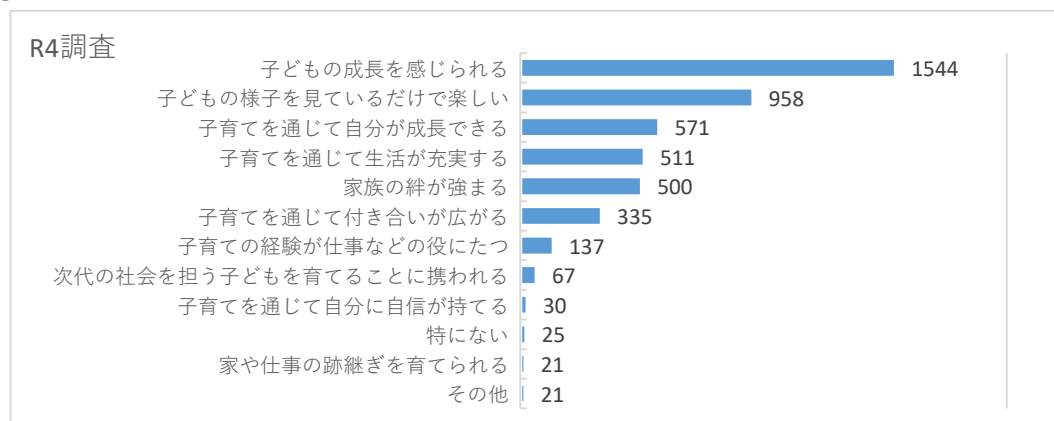
- ・「1人」又は「2人」と答えた割合が前回調査より増えた。(59.6%→67.7%)
- ・「3人」又は「4人以上」と答えた割合は前回調査から減った。(40.4%→32.3%)
- ・平均人数は、前回調査「2.3人」→「2.2人」

### ⑥理想より現実的な子どもの人数が少ない理由（複数回答）

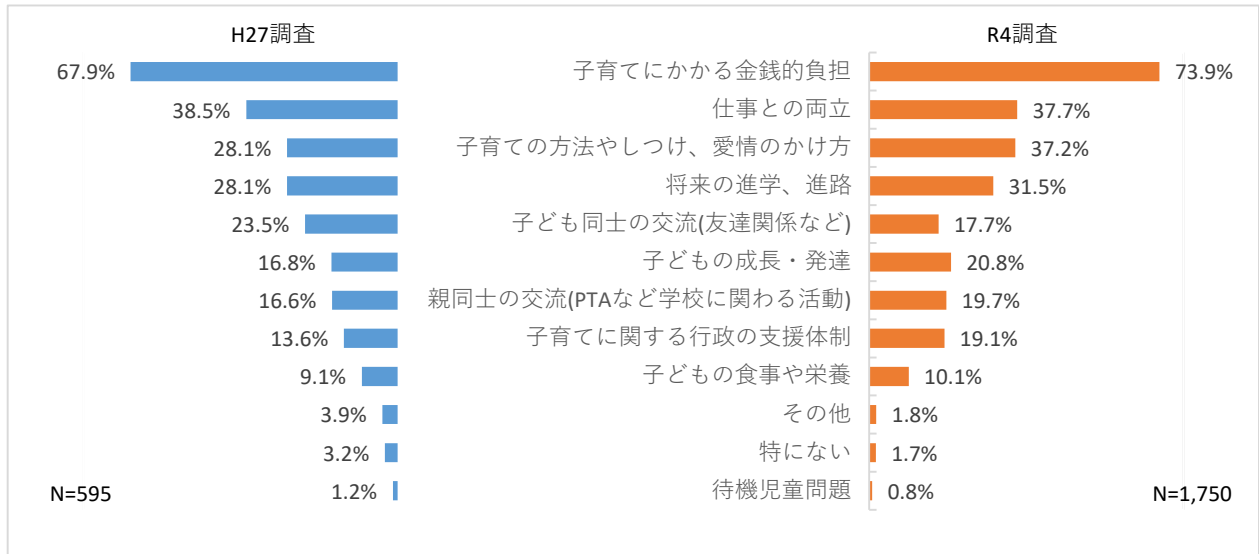


- ・理由として挙げられた上位3つは前回調査と同じだが、順位が変動した。
- ・高校や大学などの進学に対する経済的な負担感が最上位となった。
- ・保育料等の負担感の割合は前回調査より下がった。(30.6%→25.8%)
- ・「職場の理解がない」の割合は前回調査より下がった。(13.7%→9.8%)

### ⑦子育ての楽しみや喜び（複数回答）

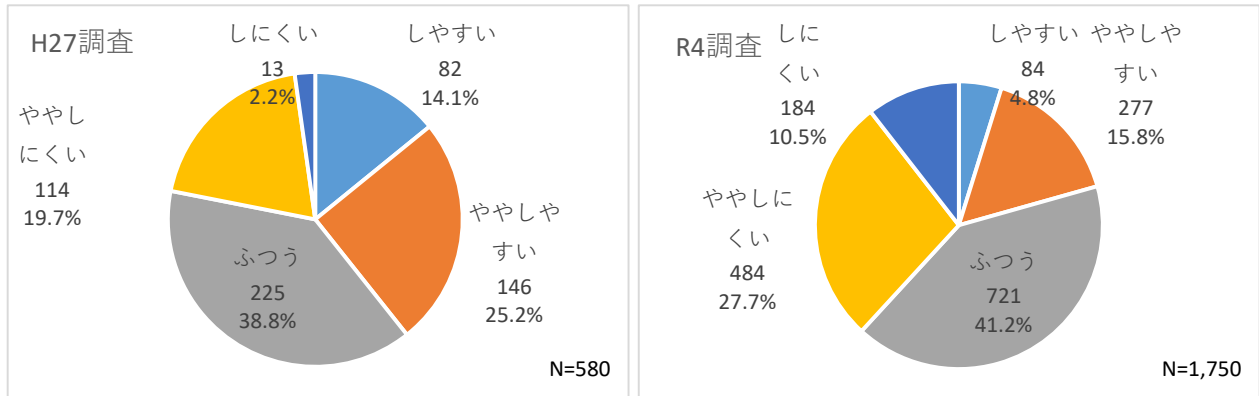


⑧子育ての不安や負担（複数回答）



- ・ 前回調査とほぼ同様の順位となった。
- ・ 経済的な負担感は前回調査より増加し、7割を超えた。
- ・ 子育て方法や子どもの成長・発達に対する不安、親同士の交流などの負担感が増加した。
- ・ 子ども同士の交流についての不安感は減少した。（23.5%→17.7%）

⑨子育てのしやすさ



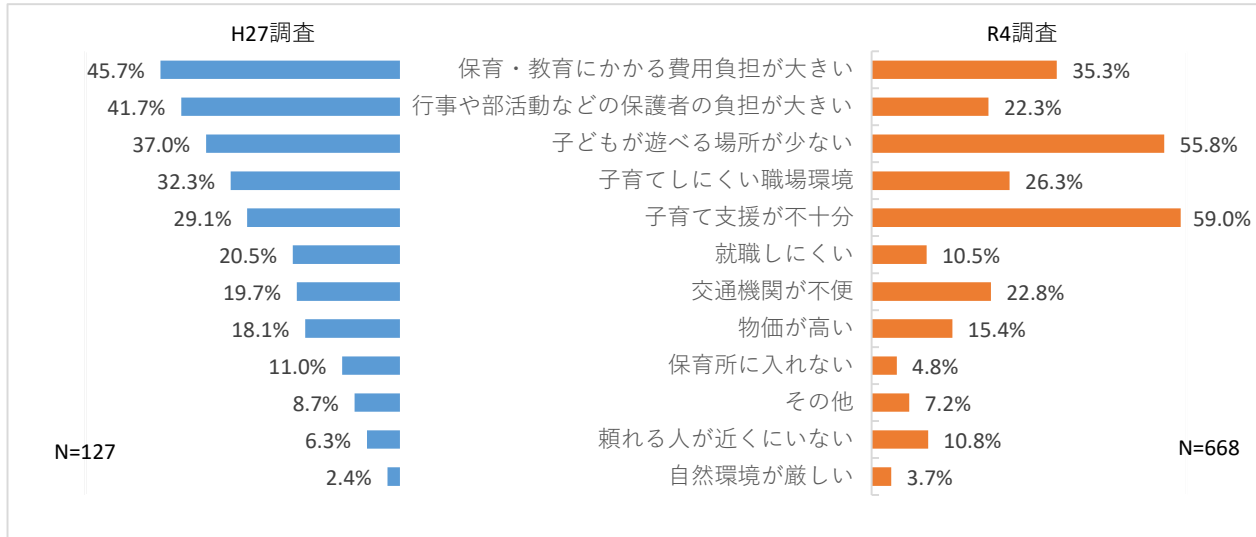
- ・ 「しやすい」「ややしやすい」の割合が下がった。（39.3%→20.6%）
- ・ 「しにくい」「ややしにくい」の割合が上がった。（21.9%→38.2%）

⑩子育てしやすい理由（複数回答）（⑨で「しやすい」「ややしやすい」を選んだ人が回答）



- ・「自然の豊かさ」「治安の良さ」「食品が安全」の割合が増加した。
- ・医療環境、子育て支援、遊び場の割合は減少した。

⑩子育てしにくい理由（複数回答）（⑨で「しにくい」「ややしにくい」を選んだ人が回答）



- ・「子育て支援が不十分」「遊び場が少ない」が前回調査から増えている。
- ・「行事や部活動などの保護者負担」「職場環境」「就職しにくい」は減少した。

⑪自由記述の意見（862件）

<主な意見>

分類	件数	主な意見等
遊び場	246	・無料で遊べる屋内遊技場が欲しい ・公園遊具の劣化が目立つ
子育て支援	159	・手厚い助成（支援金の充実、ひとり親の収入要件の緩和、出産祝い金）
医療	88	・高校生までの医療費無償化 ・産婦人科の数が少ない（町医者確保）
学校等	70	・学校関連の費用の軽減（授業料、給食費、運動着等指定の物品） ・日常とPTA活動の両立 ・ファミサポの使い勝手向上 ・スクールバスの拡充

分類	件数	主な意見等
保育	61	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育料の軽減</li> <li>・ 保育士の処遇改善（保育士が少ない）</li> <li>・ 希望が叶わない入所調整</li> <li>・ 保育時間の延長、土・日・祝日の保育</li> </ul>
働き方	26	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職場の理解が得られない</li> <li>・ 子育てと仕事の両立が難しい</li> </ul>
交通	22	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共交通機関がニーズに合わない</li> </ul>
学童保育・放課後子ども教室	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設に関すること（老朽化、学校に近い場所が望ましい、距離が遠い）</li> </ul>
病児保育	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定員の拡充</li> <li>・ 受け入れ先が少ない、内容が充実していない</li> </ul>
祖父母の支援	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 核家族には“祖父母の支援ありき”の事業が多く感じる</li> </ul>
発達障害児支援	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相談の場の周知、支援の拡充</li> <li>・ いわゆるグレーゾーンの子たちの支援</li> </ul>
職員対応	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相談支援体制の充実</li> </ul>
一時預かり	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ファミサポの活用が不便（利用までの要件が厳しい）</li> </ul>